

2 令和元年東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(5年)結果 令和元年7月4日実施

◆ 各教科の調査結果(正答率%)

*網掛けは全国平均を上回った項目です。

教科	教科全体		思考・判断・表現 (国語:話す・聞く)		技能 (国語:書く)		知識・理解 (国語:言語)		国語:読む	
	旭町小	東京都	旭町小	東京都	旭町小	東京都	旭町小	東京都	旭町小	東京都
国語	59.1	67.6	60.2	65.3	71.5	70.4	55.7	67.4	55.6	67.4
社会	60.2	66.7	58.0	63.5	58.5	66.8	66.5	70.6		
算数	50.8	60.1	32.3	47.2	59.3	65.0	58.1	67.6		
理科	46.9	56.8	42.5	53.0	60.4	67.0	43.9	55.0		

【国語】文の中における主語と述語の関係を答える問題の正答率が最も低かったため、各学年の発達段階に応じて、述語のみの文を提示して主語を補って様々な文を作るような指導を工夫していきます。

【社会】資料の凡例等を確認しながら図の流れなどを観察して情報を正しく読み取る問題の正答率が最も低かったため、資料集を活用する機会を増やし、丁寧に読み取る指導を工夫していきます。特に、凡例に着目させ正確に読み取らせていきます。

【算数】分かっていることを関連付けて二次元表を作成する問題の正答率が最も低かったため、様々な表題の二次元表を読み取る問題を多く解決させ二次元表の特徴を理解させるとともに求めることを明確にして立式させる指導を工夫していきます。

【理科】電気の性質を理解し、電気を通す物と通さない物を答える問題の正答率が最も低かったため、様々な材質の材料を多く用意した実験を多く経験させ、考察の時間を十分に設けて実感を伴った理解を深める指導を工夫していきます。

◆ 生活・意識調査結果と各教科の調査結果の相関

*特徴的な項目のみを抽出しました。

学校に行く前に、朝食を食べますか。				
平均正答率(%)	国語	社会	算数	理科
必ず食べる・たいてい食べると答えた子の正答率	60.8	61.4	53.0	47.9
食べないことが多い・まったく食べないと答えた子の正答率	25.0	36.1	47.9	26.3

朝食を必ず、または、たいてい食べている児童の方が正答率が高いことが分かります。今後は、食育との関連を図りながら食の大切さについて指導していきます。また、ご家庭におかれましても朝食をなるべく食べるようご支援願います。

家の人と、学校の出来事について話をしていますか。				
平均正答率(%)	国語	社会	算数	理科
している・たいていしていると答えた子の正答率	60.3	63.2	53.4	48.9
しないことが多い・まったくしないと答えた子の正答率	53.2	45.2	37.9	36.8

家の人と学校の出来事について話をしている、または、たいていしている児童の方が正答率が高いことが分かります。今後は、家族でのコミュニケーションの大切さについて指導していきます。また、ご家庭におかれましても積極的にコミュニケーションを図れるようご支援願います。

